

■ モニタリング様式（年度終了時）

【業務点検シート】

施設名称	廿日市市串戸市民センター		
指定管理者	〔団体名称〕 串戸市民センター 〔職・氏名〕 所長 迫 一伸	記入日	令和8年 5月11日
市	〔所属〕 廿日市市地域振興部地域振興課 〔職・氏名〕 まちづくり支援担当課長 伊東 克裕		令和8年 6月16日

評価	説明
○（適格）	適格に実施されている。
△（要改善）	一部適格性に欠ける部分があるが、改善案の実施により向上が見込まれる。
×（不適格）	不適格であり、早急または抜本的な改善措置が必要である。

区 分		評価項目 (※) 業務基準書及び協定書の内容により適宜構成	評価欄	
			指 定 管理者	市
1 基本事項				
開所時間	開所（閉所）時間が厳守され、速やかに業務が開始されているか		○	○
管理範囲	管理範囲が厳守され、利用者を妨げることはないか		○	○
利用制限	正当な理由なく利用者の利用を制限していないか		○	○
適正利用	利用・減免等の手続は適正に行われているか		○	○
利用料金	利用料金の額の設定は適正か		○	○
	減免の基準、範囲・件数は適正か		○	○
法令遵守	関連規定を理解し、法令遵守が確保されているか		○	○
許認可等	必要な許認可及び届出等が行われているか		○	○
2 維持管理業務に関する基準				
清 掃	屋内・屋外ともに美観が維持されているか		○	○
	清掃は利用者の妨げにならない時間帯に行っているか		○	○
	定期清掃は規定の回数・基準を達成しているか		○	○
廃棄物処理	適正な方法（分別等）と頻度により廃棄されているか		○	○
	廃棄物の減量に努め、利用者へ周知しているか		○	○
環境衛生	規定の回数・基準を達成しているか		○	○
公共料金支払	公共料金は滞りなく支払われているか		○	○
景観維持	屋外の景観が維持されているか		○	○
備品管理	備品管理台帳が整備され、適切に記録されているか		○	○
	利用に支障をきたす状態のまま放置されていないか		○	○
消耗品	消耗品の補充・管理は適正に行われているか		○	○
修 繕	適切に修繕を行うとともに、市への報告を行っているか		○	○
	不足している物品はないか		○	○
警 備	入退者管理、施錠管理、巡視等は適切に行われているか		○	○
	夜間・休日警備に支障はないか		○	○
安全点検	施設内・施設外に危険箇所はないか		○	○
保守点検	法定点検その他定期点検を遅延なく実施しているか		○	○

区 分	評価項目 (※) 業務基準書及び協定書の内容により適宜構成	評価欄	
		指 定 管理者	市
駐車場	設備の損傷や危険物、違法駐車はないか	○	○
	事故・盗難等の発生について市への報告を怠っていないか	○	○
3 施設運営業務及び体制に関する基準			
人員配置	必要な人員が配置されているか	○	○
連絡体制	指定管理者の団体本部との連絡体制は整備されているか	○	○
資格・免許	必要資格及び免許等が取得されているか	○	○
接 遇	職員は名札及び清潔な服装を着用しているか	○	○
	職員のあいさつが徹底され、親切・丁寧な対応か	○	○
	施設のイメージアップに努めているか	○	○
利用手続	使用許可や利用料金徴収の手続きは適正に行われ、迅速かつ円滑か	○	○
利用料金 徴収	出納簿等は整備されているか	○	○
	利用料金の額、支払方法、減免基準等について、周知は十分か	○	○
現金管理	現金は必要最小限とし、盗難・紛失等のないよう管理されているか	○	○
物品販売等 許可	物品販売、寄付の募集、広告物の掲示・配布等の許可が適切に行われ、利用者の妨げとなっていないか	○	○
記録業務	日報や各種記録（文書・画像・音声・映像等）を行い、整理しているか	○	○
広報活動	各種広報活動により利用者への周知が図られているか	○	○
	パンフレット・チラシ等の在庫切れはないか	○	○
	ホームページは利用しやすく、適宜更新されているか	○	○
掲 示	利用者への掲示物・案内等は分かりやすく用意されているか	○	○
意見等	意見・要望・苦情等の受付手段及び機会は適切か	○	○
	受け付けた意見・要望・苦情等を記録し、改善に努めているか	○	○
相談業務	相談内容及び個人情報の保護は徹底されているか	○	○
	相談事業の利用方法について周知は十分か	○	○
4 経理事項に関する基準			
財務処理	財務事務処理規程が定められ、遵守されているか	○	○
区分会計	区分会計により独立した帳簿及び預金口座で管理しているか	○	○
帳簿管理	帳簿書類等は適切に保存されているか	○	○
5 自主事業に関する基準			
自主事業 計画	自主事業の実施に当たり、事前に計画書を市へ提出しているか	○	○
	自主事業において徴収される参加費の額は適切な範囲か	○	○
6 目的外業務に関する基準			
行政財産 使用許可	目的外業務（自動販売機設置等）の実施に当たり、行政財産使用許可申請を行っているか	○	○
	目的外業務の実施による利用者への妨げはないか	○	○
7 実施体制に関する基準			
人員配置	業務主任担当者及び職員の人員配置は適切か	○	○
研修等	必要な訓練・教育・研修等が計画的に実施されているか	○	○
8 一部業務委託（再委託）に関する基準			
委託範囲	再委託の範囲及び委託先の選定は適切か	○	○

区 分	評価項目 (※) 業務基準書及び協定書の内容により適宜構成	評価欄	
		指 定 管理者	市
報 告	再委託の計画及び契約書等について市へ提出しているか	○	○
履行確認	再委託業務の履行確認は適切に行われているか	○	○
9 運営協力体制に関する基準			
協力体制	関係機関、団体、住民等と十分な連携が図られているか	○	○
10 安全管理・危機管理に関する基準			
平常時	保守点検、巡視等は適切に行われているか	○	○
事故災害対応	事故・災害等発生時は市へ直ちに報告され、適切に対処したか	○	○
体制整備	危機管理計画及び危機管理マニュアル等は整備されているか	○	○
	非常時の連絡体制は確立されているか	○	○
損害賠償	第三者への損害賠償は適切に行われているか	○	○
保険加入	必須保険及びその他必要な保険に加入し、その範囲は適正か	○	○
11 個人情報保護・情報公開・情報管理に関する基準			
守秘義務	業務上知り得た秘密を他人に漏らしていないか	○	○
個人情報保護	個人情報の保護に関する法律に基づき、適切に処理されているか	○	○
情報公開	情報公開条例に基づき、適切に処理されているか	○	○
	総合的かつ積極的な情報公開の推進が図られているか	○	○
情報管理	情報管理計画及び情報管理マニュアル等は整備されているか	○	○
	情報セキュリティ対策（コンピュータウィルス対策等）を行っているか	○	○
12 事業計画及び事業報告に関する基準			
書類提出	事業計画及び事業報告は規定どおりに提出されているか	○	○
	事業計画及び事業報告の内容に虚偽及び重大な誤りはないか	○	○
13 事務の引継ぎに関する基準			
事務引継ぎ	市及び次期指定管理者への事務の引継ぎは円滑かつ十分か	○	○
原状回復	管理物件は適切に原状回復されているか	○	○
14 連絡調整に関する基準			
連絡会議	市との連絡調整会議を行い、十分な調整は図られているか	○	○
[意見記述欄] 業務点検（年度終了時）			
指定管理者	串戸地区自治協議会と市民センターの厚い信頼関係のもと、施設運用や人事、業務管理において適切な連携をとりながら業務を遂行することができた。		
	（市への要望等） 3年後に計画されている大規模改修を見据えて、現状の施設設備の保全をどのように行っていくか、センターとの連絡調整を綿密に行ってもらいたい。		
市	施設の運営、日常的な維持管理など、業務仕様書に基づき適切に行われており、全ての評価項目において基準を満たしていると評価する。 要望のあった大規模改修に向けた施設保全については、今後も綿密な連携・情報共有を図り、円滑な調整を進めていく。		

【利用状況等分析】

	前年度 実績値	今年度 計画値	今年度 実績値	対前年比 (%又は増減)	対計画比 (%又は増減)
延べ利用者数	29,596	30,000	32,189	108.8%	107.3%
稼働率	32.3%	35.0%	36.3%	112.4%	103.7%
利用料金収入	823,580	850,000	947,240	115.0%	111.4%
減免件数	2,170	2,000	1,857	85.6%	92.9%

〔意見記述欄〕 利用状況分析	
指定管理者	利用者は、目標値の3万人を大きく上回り、コロナ前の状態まで回復してきた。利用料金収入も過去最高となり、90万円を超えた。調理室の稼働率が最も少ないため、生涯学習団体の呼び込みを行いたい。
市	計画値を大きく上回る利用者数および過去最高の利用料金収入を達成するなど、良好な施設運営を行っていただいた。 課題として挙げられている調理室の利用促進についても、これまでのノウハウを活かし、生涯学習団体へのアプローチや魅力ある自主事業の展開など、今後も施設全体のさらなる活性化に向け、引き続き効果的な取り組みをお願いしたい。

【経営分析】

経営分析指標	前年度 実績値	今年度 計画値	今年度 実績値	対前年比 (%又は増減)	対計画比 (%又は増減)
収入	22,556,845	23,697,000	23,696,724	102.0%	100.8%
支出	22,880,767	23,697,000	23,696,724	105.0%	100.8%
収支 (収入－支出)	676,078	0	0	-676.078	0
利用料金比率 (利用料金収入／収入)	3.5%	3.6%	4.0%	0.4%	0.3%
人件費比率 (人件費／支出)	76.0%	77.0%	80.2%	0.8%	1.1%
再委託費比率 (再委託費合計／支出)	3.3%	4.2%	4.2%	0.8%	-0.1%
利用者当たり管理コスト (支出／延べ利用者数)	773	760	736	96.6%	98.2%
利用者当たり 市負担コスト (委託料／延べ利用者数)	748	728	679	90.8%	93.3%

〔意見記述欄〕 経営分析	
指定管理者	指定管理最終年に当たり、計画的な予算執行により収支額を0にすることができた。利用料金収入の増加に伴い、利用者当たりの管理コストは減少している。また、利用者数の増加により市負担コストも低減している。
市	計画的な予算管理により収支を「0」に管理されている。物価や光熱水費の高騰に

	よるコスト上昇に対し、経費削減等により支出を計画内に抑えた点について特に経営努力したことを高く評価する。 また、利用者増に伴い「市負担コスト」等の低減も図られており。効率的かつ健全な経営が維持されている。
--	--

【業務履行確認】

1 単年度計画

事業計画・目標	実施状況・効果
戦後80周年 平和事業	小学生親子を対象に、「平和を考える集会」を行った。講師選定、学習教材、会場展示など主催者としての工夫を行い、有意義な活動ができた。
子どもの居場所づくり	小学生を対象にした防災キャンプ、夏休み放課後教室、市民センターまつりでのキッズチャレンジなど、社会的体験を深める内容になった。
歴史講座シリーズ	年3回の歴史講座を行い、それぞれの講師から興味深い講演をしてもらうことができた。廿日市市外からの参加者が多く、年齢層も幅広いものになった。
デジタルデバイドの解消	スマホ相談室を毎月第2・4金曜日に定期的実施。職員が個別相談を行い、困りごとを解決するとともに親しみや信頼感を得ることができた。

2 中・長期計画

事業計画・目標	実施状況・効果
土曜朝市事業	自治協議会との共催により、毎月第2・4土曜日に行っている。今年度は、金剛寺小学校や七尾中学校の児童生徒が栽培した野菜も販売され、学校と地域連携の窓口役を果たすことができた。
学習機会の提供	放課後に小学生や高校生が図書室で宿題や試験勉強を行っている。夏休みなどには、空き部屋を利用した学習室の提供を行い、定着化している。
広報活動の工夫	月1回の市民センター便りの発行とそれに伴いホームページの更新を行っている。季節の節目にはカラー印刷版を発行している。二次元コードを利用したウェブ申し込みが定着し、申込手続きの省力化につながっている。

【意見記述欄】 業務実施状況等	
指定管理者	国際理解講座として、マレーシアからの留学生を講師として招聘した。マレーシアの伝統衣装や料理を参加者に体験してもらう機会となった。串戸地区にも外国人労働者が増えており、今後こうした人へのアプローチをすることで実生活での課題解決につなげていきたい。
市	平和事業やデジタルデバイス解消など多岐にわたる計画事業が着実に履行されている。 また、地域の特性を捉えて国際理解講座を実施し、今後の外国人住民への支援や地域共生という課題を見据えて取り組んでいる。

【利用者満足度調査実施結果】

実施方法等	時 期：R 7 年 1 2 月 対象者：クラブ会員を中心とした利用者 方 法：利用者アンケート
回答数等	回答者数 1 2 1 人
実施結果	【良い・ほぼ良い】 接客満足度 9 7 %、 施設環境満足度 9 4 %、 主催事業内容 7 3 %

回答者の意見等	対応策等
窓口業務が平日（17時まで）だけで、現金扱いしかできないのは不便。	R8年7月からペイペイ支払、10月からオンライン予約可能になることを今後説明する予定。
階段や通路は以前より綺麗に清掃されている。部屋の清掃は「使用后必ず行う」を守ってほしい。	活動後の清掃や清掃道具の使い方について、クラブ代表者会議で改めて周知徹底した。
本の貸し出しをもっと目につきやすい所に置いてほしい。	本の貸し出しをしていることを利用者に周知できるよう改善する。
スタッフが優しく親切。	今後もサービス向上に努める。

【意見記述欄】 利用者満足度調査	
指定管理者	利用者への接客満足度及び施設環境満足度は、高い水準で保たれている。主催事業内容については、回答者が主催事業に参加していないために無回答が多く70%台にとどまった。今後も利用者の声を謙虚に受け入れながら、細やかなサービスの提供に努めていきたい。
市	接客・施設環境ともに9割を超える高い満足度を達成しており、質の高い管理運営が行われていると評価できる。 今後も利用者の声に耳を傾け、引き続き質の高い市民センター運営が継続されることを期待する。

【総合評価（単年度）】

施設名称	廿日市市串戸市民センター
施設の 設置目的	生涯学習及びまちづくりの拠点施設として、地域自治を推進、住民とのつながりを大切にして暮らしやすく豊かな地域社会を実現する

〔意見記述欄〕 総合評価	
指定管理者	本市民センターは、串戸自治協議会との一体的な自主運営を行い、他の市民センターにはないオンリーワンの存在であることをめざしている。「公」の施設としての平等性と公平性を大切にしながら、その基盤である地域の人から信頼され親しんでもらえる職員の職務能力とサービス精神の向上に今後も取り組んでいきたい。
市	自治協議会と一体となった特色ある運営により、利用者数や料金収入の大幅な増加を達成し、地域自治の推進や豊かな地域社会の実現に向けた質の高い運営が行われている。 高い接客満足度にも表れているとおり、地域に寄り添ったオンリーワンの施設運営は市民の大きな信頼に繋がっている。今後も地域から愛され信頼される市民センターとして、さらなる職員の資質向上や、施設全体の活性化に向けた取り組みを期待する。

【指定期間全体の評価（更新時）】

施設名称	串戸市民センター
指定管理者	串戸地区自治協議会
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
施設概要	敷地面積1433㎡ 鉄筋コンクリート3階建
施設の設置目的	生涯学習及びまちづくりの拠点施設として、地域自治を推進、住民とのつながりを大切にして暮らしやすく豊かな地域社会を実現する
市支出額（委託料）	5か年総額 108,690,000円
所管課	地域振興課
評価対象期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 項目別評価

評 価	説 明
A（優良）	要求される水準を超え、特に良い成果が認められる。
B（適格）	要求される水準を満たしている。
C（不適格）	要求される水準に満たず、問題があると認められる。

(1) 公の施設の平等利用等に関する取組み

項 目	評 価 視 点 (※) 公募時の審査基準の「審査の視点の例」をもとに構成	評価欄	
		指 定 管理者	市
基本事項	関係法令等を理解し、遵守したか。	B	B
	必要な資格免許が取得されていたか。	A	A
平等利用	全体の事業内容に偏りはなかったか。	A	B
	特定の個人や団体が優遇されることはなかったか。	B	B
公共性	公の施設を運営するにふさわしい理念により運営していたか。	B	B
	現状分析・課題認識は適切であったか。	B	B
	公の施設の設置目的や市の施策を理解した事業内容であったか。	B	B
	利用料金の設定は適当であったか。	B	B
	利用料金の減免・還付は適切に行われたか。	B	B
	管理運営における環境への配慮は十分であったか。	B	B
	利用者の要望や意見を把握し、的確に対応したか。	A	B
具体的な取組みの状況・実績			
・市民センターハンドブックに準拠した管理運営を実施した。 ・指定期間内に2名の社会教育士資格を取得した。 ・7領域のバランスを考え、年間事業計画を作成した。 ・利用者の世代や性別等を分析し、参加の少ない層への取組を行った。			
評価の理由（指定管理者）			
施設利用申請書、施設利用料、年間利用者数等の実績値をもとに評価した。 イベントアンケート、利用者アンケートに記述された意見などを整理、集約した。			

評価の理由（市）
施設の維持管理に必要な基本的な資格にとどまらず、生涯学習の推進を担う施設としてふさわしい専門資格の取得を職員に促し、組織的なスキルアップを図ったことは特に良い成果である。 また、市民センターハンドブックに準拠した管理運営を実施しており、関係法令の遵守や公平・平等な利用環境の確保など、指定管理期間を通じて要求される水準を安定して満たしている。 今後のさらなる発展に向け、調理室など稼働率の比較的低い部屋に生涯学習団体の呼び込むなど、施設全体のよりバランスの良い稼働向上に向けたアプローチを強化するよう期待する。

(2) 施設の効用の発揮・管理経費の縮減に関する取組み

項 目	評 価 視 点	評価欄	
		指 定 管理者	市
効用発揮	施設の特徴を活かし、施設の価値を高めることができたか。	A	A
	サービスの質の向上のための取り組みは効果的であったか。	A	B
	利用拡大の方策は効果的であったか。	B	B
	施設の情報発信は工夫されていたか。	A	B
	企画事業・自主事業の実施方針や内容は適当であったか。	B	B
経費縮減	収支計画にのっとり、安定して経営できたか。	B	B
	コストカットによるサービス低下はなかったか。	B	B
	税負担（市委託料）が削減されたか（望ましい利益者負担が実現されたか。）。	B	B
	運営の効率化が効果的になされたか。	B	B
	予定外の収入減・経費増への対応は的確であったか。	B	A

具体的な取組みの状況・実績

- ・令和3年度 12,589人（コロナ期を含む）→令和7年度実績 32,189人
- ・令和7年度管理経費 5,254,000円（前年比17%増）
- ・臨時職員の時給は5年間で870円→1,080円に増加（24%増）
- ・令和4年から電力会社変更に伴う電気代高騰で2年間、市からの助成を受ける。
- ・自治協議会主催の行事のため早朝開館（土曜朝市）祝日開館（自主防災関係）等の便宜を図った。（市教育委員会届け出）

評価の理由（指定管理者）

市民センター企画運営委員会を年2回実施。1回目は事業計画の説明、2回目は利用人数、稼働率、自己点検表、利用者アンケート等の資料を提示し、委員との意見交換、評価を行っている。

評価の理由（市）

自治協議会主催の土曜朝市のための早期開館、自主防災活動に伴う祝日開館等の便宜を図り、市教育委員会届出のもとで手続きを適正に行い、地域のニーズに合わせて柔軟な開館体制を敷かれている点は、住民の利便性を優先した独自の優れた取り組みであり、施設の効用を最大限に発揮されていると評価できる。

また、人件費や光熱水費の高騰に対しては市の助成を活用しつつ、サービス低下を招くことのないよう効率的な予算執行に努め、5年間を通じて安定した経営が維持されており、優れた管理運営であったと認められる。

(3) 管理運営の安定性に関する取組み

項 目	評 価 視 点	評価欄	
		指 定 管理者	市
物的能力	団体の経営が安定しており、施設管理を継続的・安定的に行うことができたか。	A	B
	維持管理を良好に行うための仕組みが構築されていたか。	B	B
	安全管理・危機管理への取り組みは適当であったか。	B	B
	個人情報の保護、情報公開に対し十分配慮し、必要な措置を講じたか。	B	B
	第三者への委託や運営協力体制は適当であったか。	B	B
人的能力	団体本部との役割分担や責任体制は明確かつ適当であったか。	A	A
	適切な人員配置・勤務体制がとられていたか。	A	B
	人件費や労働条件の設定において、職員への配慮はなされていたか。	A	B
	職員の教育研修体制は適当であったか。	A	A
具体的な取組みの状況・実績			
・危機管理マニュアル（利用者救護・不審者対応・クレーム対応・情報管理等）を作成し、定期的に職員研修を実施。また、日常起きる課題の共有化を図る連絡会を行っている。 ・消防訓練年2回実施 ・管理団体である自治協議会役員との職員面談を年2回実施。職員の業務状況や健康状態の把握、要望意見等を聞く機会としている。 ・職員の採用に当たっては、ハローワークへの公募及び面接を実施している。			
評価の理由（指定管理者）			
毎週木曜日に行われる自治協議会幹部役員による事務局会に所長も参加し、管理者との連携を密にしながら日常的な情報交換と情報共有を行っている。			
評価の理由（市）			
危機管理マニュアルを作成し、定期的に職員研修を実施している点、消防訓練を年2回実施している点など、安心安全な施設運営に向け計画的な職員の教育研修体制が構築されている。 また、毎週自治協議会の事務局会に参加し、日常的な情報交換と共有を密にされている点も、管理者との役割分担や責任体制が明確であると認められる。			

(4) 施設の設置目的の達成に関する取組み

項 目	評 価 視 点	評価欄	
		指 定 管理者	市
交 流	住民の交流によって地域の活性化・賑わいづくりはできているか。	A	A
福 祉	高齢者の健康維持増進やスマホ活用の取組はできているか。	A	A
青少年育成	地域に愛着をもち、誇りに思えるような取り組みができているか	A	B
安全・防災	防災事業を通して、地域の防災意識を高めることができているか	A	B
具体的な取組みの状況・実績			
・串戸3大イベント（8月夏まつり10月市民センターまつり2月カキまつり）各イベント参加者約1,000名。 ・脳トレ講座年2回実施。毎週木曜日に自治協議会主催の「楽しく健康体操」実施。毎月第2・4金曜日にスマホ相談室を開催。			
評価の理由（指定管理者）			

イベントごとに参加者アンケートを実施し、実行委員会等において反省会を行い、改善点を整理している。子育て世代の家族を中心にふだん利用することが少ない年齢層も多く参加している。
評価の理由（市）
各イベント参加者が約 1,000 名にのぼる 3 大イベントの実施や、イベントごとに参加者アンケートを実施し改善を図る仕組みが構築されている。これらのイベントが子育て世代の家族を中心に普段市民センターを利用することが少ない年齢層が多く参加する多世代交流の場として定着しており。地域の活性化や賑わいづくりに大きく寄与している。 そのほか、体操教室やスマホ相談室など、高齢者福祉へのアプローチも計画通り実施されており、5 年間を通じて施設の設置目的を達成されていると認められる。

(5) その他取り組み（参考）

項 目	評 価 視 点	評価欄	
		指 定 管理者	市
参考項目	収益（剰余金）が有益に利用された。	A	B
	経験者の確保や地域雇用が行われた。	A	B
	市民との協働による管理運営が行われた。	A	B
	障がい者、高齢者の雇用や男女平等参画に対する配慮がなされた。	B	B
	地域の活性化につながった。	A	B
具体的な取り組みの状況・実績			
・収益金を利用して、令和 4 年度に長机を購入し、土曜朝市で使用している。他にも自治協議会との共同によりイベント備品を購入している。 ・廿日市市在住の職員は 90 %。串戸地区採用者は 30 %。 ・管理者である自治協議会と一体化した自主運営を行っている。			
評価の理由（指定管理者）			
税理士事務所に経理管理を委託しており、法的透明性は担保している。 職員に人件費、雇用に関しては自治協議会と協議を行い、その承認のもとに管理運営している。			
評価の理由（市）			
自治協議会との協議等を通じて緊密に連携し、自治協議会と一体化した自主運営による地域に根ざした持続可能な管理運営体制が確立されている。 また、収益金の取扱や各種配慮事項についても、公の施設として適正に処理されている。			

2 指定期間全体の総合評価

[意見記述欄] 総合評価	
指定管理者	指定管理運営を健全に行うには、まず管理者である自治協議会が市民センター運営についての深い理解をもち、所長をはじめ各職員への信頼で結ばれていることが大切である。5年間の指定管理期間を通して相互に阿吽の関係で充実した取り組みができたと確信している。希薄になりがちな地域の人間関係をつなぎとめ、隣の人の顔がわかる近所づきあいが維持できるよう様々な取組を行っている自治協議会に対して支援と協力ができる市民センターでありたいと職員の意識を共有化することができた。 高齢化による世代交代、地域の担い手不足、町内会加入率の低下など課題は大きいですが、次の指定期間が終わる5年後を見据えて問題解決の糸口を見つけていきたい。 また、市民センターの窓口業務も今後大きく変わっていくなかで、変化に柔軟に対応できる職員を育成し、地域から親しまれ安心して過ごせる場であり続けるよう取り組んでいきたい。
市	本指定管理期間は、コロナ禍という逆境からスタートしたものの、多世代が交流できる自主事業や各種講座の魅力的な事業展開により、令和7年度実績で32,189人を数えるまでに確実な回復を果たした実績は高く評価できる。 また、前例のない物価高騰の波に対しても、効率的な予算執行に努め、サービス低下を招くことなく安定的な施設経営の維持がされた。 このような多大な外部環境の変化のなかにあっても、管理者である自治協議会が市民センター運営について深い理解をもち、職員との間で理念と意識を共有化が図られ、相互に阿吽の関係で充実した取り組みを展開し、住民のつながりを絶やさない取り組みを実施し続けたことは、地域自治の拠点として役割を大いに果たされたものと受け止める。 また、課題としている、高齢化による世代交代や地域の担い手不足などの構造的な課題や、今後の窓口業務の変化に対しても、これまでに培われた強固な組織力と高い専門性を発揮し、地域から永く親しまれ安心して過ごせる場としてさらなる発展を遂げることを強く期待する。